



援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

3月の援農は1168時間(無償36.5)、援農参加者は36人、受け入れ農家は13軒でした。今年度累計は2549時間です。作業内容は、人参・大根の種まき、エンドウ間引き、畑の片付け、ポット詰めジャガイモ・ブロッコリーの定植、人参・ネギの収穫、ハウス片付け、選卵堆肥運び、草取り、キュウリの苗床、トマト・里芋・玉ねぎの定植

理事会・分科会だより

第4回理事会開催 4/9(水)18:10~20:40

- (台町市民センターにて 理事9名 オブザーバー1名 監事1名出席)
- ・3月度会計報告・すずしろ郵便口座の新設等について
- ・富所農園モデル区画で野菜作りの講習会開催について 農園小屋の整備、駐車場移転計画について報告
- ・事務局の事務分担について
- ・平成26年度活動方針の確認、課題について (ハチ対策の講習会・料理教室の開催、援農固定化、入会申込書の変更) 事務局より; たけのこ堀り・ブルーベリーのお花見(詳細はイベント情報) 農林財団との協賛について等の報告

イベント情報

たけのこ堀り(4/29・5/3・5/6)

9:30~12:00雨天中止 常盤幸二さん(寺田町 925)

参加費(保険料)会員100円非会員150円(一人当たり)

買取価格 1kg300円

ブルーベリーの花見(5/7)雨天時は8日

10:00~ 中村農園さん(上恩方 1543)

料理講習会(7/17)川口市民センター(詳細は後日)

ハチ対策講習会(日程等詳細は次号でお知らせします)

野菜作り講習会

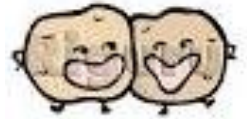


ちょっと耳にした情報・アドバイス

小比企町 中西忠一

『ジャガイモの病気』

ジャガイモの病気は、葉が縮れたり巻き上がったたり変色したりといった、葉に症状が表れるものと、塊茎表面に黒斑るもの、塊茎が腐敗するものなどがあります。葉の病気はアブラムシが運んでくる場合が多いです。葉の病気にかけるとジャガイモの収量がぐんと減りますが、塊茎表面の病気は収量にはあまり影響しません。農家では種イモの定植前に、切った種イモを農薬に漬けて乾かして植え付けします。植えるとき株間を狭くすると大きいジャガイモもできないし、病気にもかかりやすくなるので、株間は35cmと広めに取ります(うね間は60cm)。葉の病気が出たときは、10日おきに消毒をします。試し掘りをして塊茎が7cmくらいに育っていたら、もう消毒はしません。収穫が遅くなると、腐敗性の病気が広がるので、収穫は早めにします。収穫した後の茎や葉は、病気がついているのでそのまま堆肥にすることはせず、燃やします。ちなみに、ジャガイモには鶏糞や石灰は、肌が汚くなるので、使いません。肥沃で微生物の多そうな畑で病気が多いとも限らないです。(聞き取り 飛田)



今月入会された方々

今月は2名の方が入会されました(皆様援農体験記などの寄稿よろしくお願ひします)

援農体験記

山口史子(鎌水在住)です。生花店で働いています。生産側の事にも興味があり、昨年の秋から空き時間に援農に参加させていただいています。畑の力仕事、収穫した野菜の出荷前作業、ドライフラワーの作品作りなど経験しました。慣れない上に寒さの中での根気のいる作業ですが一緒に働く仲間と援農先のご夫婦のお人柄に惚れて援農に行く日が楽しみになっています。

生産側のご苦労は援農体験によってわかり、食物を口にするたびに生産者さんに感謝しています。勤務先の生花店でも花一本に対しての思いが深まり、よりいっそう花が愛しくなりました。

